

令和6年度 第3回学校運営協議会議事録

1 日時

令和7年2月12日(火) 10:00～11:30

2 場所 さくら草特別支援学校会議室

3 出席者 (敬称略)

山岡 康幸 大谷場東小学校非常勤講師(元本校教頭)
山本 宏 社会福祉法人さくら草 理事長
石関 健 学校法人大古里学園 理事長
酒井 浩志 さいたま市立大古里公民館 館長
鈴木 美幸 三室おぶさと住宅自治会 会長
天野 尚子 緑区障害者生活支援センター 施設管理者
中村 有里 さいたま市立病院 看護師長
廣江 剛 さいたま市立三室中学校 校長
三島 公夫 さいたま市立三室小学校 校長
大田 明子 本校 PTA会長
入澤真理香 さくら草特別支援学校校長
稲 吉 勝 さくら草特別支援学校教頭
遅澤麻奈美 さくら草特別支援学校教頭
山口 真 さくら草特別支援学校 教務主任
山元 誠一郎 さくら草特別支援学校 学校地域連携コーディネーター

15名

4 欠席者 (敬称略)

工藤 祐子 療育センターさくら草すみれ 園長

1名

5 議事録

1 校長あいさつ

- ・日頃よりご協力ありがとうございました
- ・次年度に向けて忌憚のないご意見を

2 教育活動の近況報告(教務主任)

- ・学校保健、給食の活動を中心に報告
健康診断(身長、体重、歯科健診の結果、フッ化物塗布)の内容、方法等の説明
永久歯のむし歯0継続していきたい
給食の食形態の工夫、給食週間、シェフ給食
給食と図書室との連携(本の世界を味わおう)
シェフ給食(パレスホテル大宮毛塚シェフ) 香り、音、味を楽しむ時間となった

3 本年度の振り返り

(1) 学校評価について

- ・教職員の評価結果は昨年度とほぼ同じ結果となった

- ・特に評価が高かったのは、「給食の提供」で、日頃から栄養バランスや食形態を踏まえた給食を検討したり、シェフ給食や食育の日の取組等を通じて、子どもたちの食への興味を高める取組を行ったことが高い評価につながったと考えられる
- ・一方で、肯定的評価の平均がやや低い評価となったのは、「小中高12年間の連携」や「児童生徒の実態把握」、「事故防止」、「校務分掌」などであった
- ・保護者アンケートの結果は、多くの項目で高評価をいただいたが、全体平均が昨年度よりもやや下がる結果となった
- ・高評価をいただいたのは、「学校生活」や「人との関わり」、「友達や先生との生活」、「給食の提供」などで、多くの保護者の方から、お子さんが学校生活を楽しく送っているというご意見や、学校で得られる経験や人との関わりについては高評価となり、さらに給食については教職員のアンケート結果と同様に高い評価をいただいた
- ・要改善の割合が高かった項目は、「子どもたちの実態と課題を理解した指導」、「情報機器 (ICT) を活用した授業」、「日々の健康観察や感染症防止」、「医療的ケアのシステム整備」などが挙げられた
- ・いただいたご意見については真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしていく

(2) 学校自己評価システムシートについて

- 1…授業づくりシートの活用することで目標を明確化し指導できた
実態把握を丁寧に行う
児童生徒の実態に合った ICT 機器の活用
- 2…保護者評価はわずかに下がった
医療的ケアの内容により慎重にならざるを得ないことも多かった
年度内のケアの内容が大きく変わることがふえてきた
教職員のスキルがまだ十分とはいえない、看護師不足(校外学習等)
安心して実施できるようにしていく
事故報告、ヒヤリハットの共有
災害想定訓練の充実を図っていく
備蓄バッグの中身の確認、使用練習
- 3…地域とのかかわりを今後も充実させていきたい
個人情報保護にも気を付けながら行っていく
居住地校交流、近隣学校との交流は継続させていく
- 4…市内小中学校への巡回相談に複数教員が参加
今後の専門性の向上を研修等で充実させていく

- 4 次年度の学校運営に関する基本的な方針について
子どもも保護者も教職員も一緒に考えていける学校に

5 委員の方より

学校評価について

- ・保護者 1 を評価している実人数 同じ方が全部1評価なのか？
 - 無記名だが学部はわかる 2.9は1名 すべてが同じ方ではないが対策は職員会議で周知し、1・2月の職員会議で関係部会が検討した改善案を共有予定。
- ・保護者アンケートの記述でも意見について、フィードバックはあるのか
 - 個々には難しい 保護者への返答もわかるように工夫していきたい
- ・教職員アンケートは記名制か
 - はい
- ・たくさんの教職員がいる中で100%は難しいだろう
- ・丁寧な分析を参考にしたい
- ・12年間は肝になるはずだが教職員の要改善が高い なぜ連携していないになるのか？
否定的な意見が17.5%は高く感じるがまだできるという肯定的な意見なのか、否定的意見なのか？
 - 小学部で学んだことの次の学部への引継ぎが浅い。行事の発表の仕方の伸びがみえづらい引継ぎがまだ不十分だという意見があったので否定的な意見
- ・システムを整える、全体研修が重要 成長を見逃してしまうケースがないように研修を行うべき
- ・丁寧なアンケート
- ・校務分掌について本校でも偏りがあると意見があるが、さくら草ではどうか
 - 同じ 本人の感覚と周囲の感覚に差がある
時間外の勤務が多い職員には個別に声掛けをしている
- ・保護者評価はほぼ下がっている 教職員が努力していても届いていないということか
 - 重く受け止めている。職員会議で全体周知。要改善の意見をどう改善に結びつけていくかやっつけていかねばならない。
- ・保護者評価について「適切な個別の指導計画の作成」が高くて「実態と課題を理解した指導」が低い 関係性について教えてほしい 医療的ケアとの関連はあるのか
 - 普段の指導についてが多かった 保護者の望む活動との実際の指導の差 (ICT の活用の仕方等)があるのではないか
- ・日々の取り組みが丁寧
- ・災害時の対応については学校だけで考えることではない 実際に起こった場合、学校にとどまることが安全の場合がある。関係機関とのやり取り、放デイとよりご家族とのやり取りのほうが安全
 - 引渡しカードで確認 カードには引き取りは「放課後デイ」と書いている家庭が多い。訓練時ではなく実際に災害が起こったときに本当に放課後デイに引き渡しなのか 関係機関と密に連携していかねばならないとは思っている
- ・災害時学校待機なのか放課後デイが迎えに来るのか、移動支援を活用するのか 連携していきたい 本施設でも計画中 一緒に考えていきたい
- ・保護者アンケート「医療的ケアのシステム」について、教育委員会との連携と言っていたが医療機関、放課後デイとも連携を

学校自己評価シートについて

- ・引き渡し訓練は行っているが体育館で過ごす訓練、市立病院との連携訓練、自動販売機の設置
 - ・地域の訓練時に一緒に行くことも考えていけたら
 - ・避難所運営訓練は土曜に開催 平日開催は難しい ハグ訓練に子どもがいる想定がなかった 今後検討する必要はあるかも
- 実際にシュミレーションができる機会を今後考えていく。(夏休みに親子で泊ってみる等)
- 自販機は設置の方向
- ・交流ありがとうございました。音楽交流は中止で申し訳ない 合唱祭は9月末に実施予定
 - ユニバーサルデザインの授業づくり 中原Tに実態に合った研修を行ってくれ、非常に助かった。来年度も継続するのでお願いしたい

来年度の方針について

- ・目標3つはとても大切
 - たくさんの人と～ さくら草だけでなく三室小、三室中双方からのニーズがあるところを踏まえて考えていってほしい
- ・福祉の連携 さくら草とは取れているが通常の特別支援学級との連携がとりにくい なんとかならないのか 連携の在り方を広げていってもらえないか
- ・開校当初はなかなか良い評価をもらえなかった 高い評価をもらっていて学校の努力が感じられる
- ・シェフ給食のシェフ…楽しくないと食じゃない
 - 給食の評価が高いことにも影響している
 - シェフが食べられなくても見て楽しんでもらうことも大切にしている

6 諸連絡

- ・アンケートのお願い
- ・令和7年度学校運営協議会について
 - 継続の依頼(年度初め)
 - 次回令和7年6月18日(水)の予定
- ・卒業式案内について